

中施策評価書

作成日 令和元年 12月 10日

中施策事業名	病後児保育事業	部課名	健康福祉部・保育課
		作成者	浅井 俊一

①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
③中施策	緊急時に対応できる体制を整える
④中施策事業の対象	病後児童及びその家族等
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	児童の病後にも安心して預けられるところがあるということが広く知られ、必要時に利用されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・病後児保育室事業

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
病後児保育室の登録人数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	200	200	200	200	200	200
	実績値	94	130				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		決算額		予算額		
		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
① 総事業費(a+b)		11,695千円		7,708千円				
人件費	a 事業費合計	5,265千円		7,708千円		7,851千円		
	正規職員	人数	1.1 人		0 人			
		b 金額	6,430千円		0千円			
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	2 人		0 人			
		金額	4,594千円		0千円			
人件費合計		11,024千円		0千円				
② 補助金等(収入)		2,232千円		1,646千円		1,660千円		
③ コスト(①-②)		9,463千円		6,062千円				
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		138 円		88 円				

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	広報とよあけや保育園を通じて周知を行ったことなどから評価指標である登録人数が増加した。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	第2期豊明市子ども・子育て支援事業計画策定作業と併せて、病児保育事業等の実施について検討する。病児保育事業の実施が可能となれば、病後児保育事業の需要も高まることが予想される。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	継続して広く市民へ周知する。登録方法について検討していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 5月 30日

中施策事業名	認可外保育所事業	部課名	健康福祉部・保育課
		作成者	浅井 俊一

①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる
④中施策事業の対象	認可外保育サービスを必要とする人
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	認可外保育サービスを必要とする全ての人がサービスを受けることができる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 認可外保育所の運営に対する補助事業 認可外保育施設の指導監査

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
認可外保育所の入 園実績人数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	40	40	40	40	40	40
	実績値	45	45				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		12,655千円	11,800千円		
a	事業費合計	12,070千円	11,800千円	12,342千円	
	正規職員	人数	0.1人	0人	
		b金額	585千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		585千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		12,655千円	11,800千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		184円	171円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	認可保育所の入所基準を満たさないが、ニーズも含めた保育の受け皿として実績が推移しており、計画通り事業を進めている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引続き認可外保育施設への補助を行う。公立保育所だけでは対応できない一時預かり事業に対するニーズの受け皿の機能を果たす施設については、補助金額の上乗せを行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 6月 3日

中施策事業名	保育所等整備事業	部課名	健康福祉部・保育課
		作成者	浅井 俊一

①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる
④中施策事業の対象	今後保育所等を利用しようとする者及び保育所等整備事業者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	利用者がより多くの選択肢の中から保育所等の利用を選択できるようになる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	市立保育所等の管理、教育・保育施設等の整備、地域型保育事業の認可、地域型保育事業の指導監督

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
保育所等の利用定員数(10月1日時点)	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	1,519	1,534	1,688	1,778	1,778
	実績値	1,489	1,519				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 総事業費(a+b)			0千円	100,380千円	
人件費	a 事業費合計		0千円	100,380千円	509,387千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	27,146千円	380,014千円
③ コスト(①-②)			0千円	73,234千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			0円	1,064円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	平成30年(2018年)4月に事業所内保育事業所が開設し、評価指標である利用定員が30人増加した。また、平成31年(2019年)4月には、補助金の交付を行った私立保育所の施設整備費補助事業により利用定員が15人増加した。令和2年(2020年)4月開設に向けた認定こども園及び私立保育所施設整備事業も計画どおり進捗している。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	第2期豊明市子ども・子育て支援事業計画策定に際し、教育・保育事業者ヒアリング等を行い、今後5年間の保育所等整備計画を立てる。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	第2期豊明市子ども・子育て支援事業計画に基づき、計画実現に向けた具体的な実施方法の検討を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	平成30年度第1回豊明市子ども・子育て会議において、公立保育所の民営化を含めた豊明市の今後の保育所等整備の方向性を示した。	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	令和2年(2020年)4月開設に向けた認定こども園及び私立保育所施設整備事業に関し、6月議会及び12月議会において債務負担行為に係る補正予算の議決を得、国への保育所等整備交付金の交付申請等を行った。	

中施策評価書

作成日 令和元年 5月 24日

中施策事業名	保育所等運営事業	部課名	健康福祉部・保育課
		作成者	

①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる
④中施策事業の対象	保育所等の利用者及び保育所等運営事業者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	質の高い保育が提供されており、保育所等の利用者が安心かつ快適に利用できている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	保育所等の入所、教育・保育給付、市立保育所の運営、保育士の管理及び研修、保育料及び利用者負担額、保育所等への補助金、幼稚園への補助金

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
待機児童数（潜在的待機児童数を含む。10月1日時点）	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	120	110	100	90	80
	実績値	121	121				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 総事業費(a+b)			0千円	1,057,197千円	
人件費	a 事業費合計		0千円	1,057,197千円	1,220,998千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	632,991千円	695,755千円
③ コスト(①-②)			0千円	424,206千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			0円	6,164円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	保育所等入所申込児童数の増加(1,536-1,499=37)が、施設整備に伴う利用定員数の増加(1,519-1,489=30)を上回ったため、評価指標である待機児童数が減少しなかった。今後増えることが予想される保育ニーズ(特に3歳未満児)に対応するため、施設整備による利用定員数の増加に対応する保育士の確保が課題である。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	保育士確保の一手段として、保育士の子どもに対する保育所等の優先利用について検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	私立保育所等の新規開設者に対する運営費補助金の補助対象事業として、保育士確保を推進するメニューの追加を検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 5月 30日

中施策事業名	女性の復職支援プログラム事業	部課名	健康福祉部・保育課
		作成者	浅井 俊一

①めざすまちの姿	36 女性が職場や地域で活躍し続けている
②大施策	女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる
③中施策	職場や地域において女性の活躍の場を増やす
④中施策事業の対象	潜在保育士、保育士を目指そうと思っている人、地域において保育や子育て支援等の仕事に関心を持っている人
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内の保育園等に安心して子どもを預けることができ、職場や地域で活躍できると考えている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援員研修開催事業 ・保育士資格取得支援補助金事業

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
セミナー受講生の 数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	80	80	80	80	80	80
	実績値	38	38				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 総事業費(a+b)		1,222千円	60千円	
a	事業費合計	637千円	60千円	1,096千円
	正規職員	人数	0.1人	0人
		b金額	585千円	0千円
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人
		金額	0千円	0千円
人件費合計		585千円	0千円	
② 補助金等(収入)		405千円	0千円	377千円
③ コスト(①-②)		817千円	60千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		12円	1円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	保育園に勤務している延長保育補助員や事業所勤務している人にとって、スキルアップにつながるような内容であった。また、それ以外の人にとっては、保育について知識を深める良い機会となった。ただ、就労につなげるという面では課題が残った。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	子育て支援員取得に向けたプログラムを行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	子育て支援員の資格を取得した人が就労につながるような方法を検討していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名	内容、理由、時期等
	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		